

第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議の結果概要について

テーマを「水でつながる、人がつながる びわ湖の環」とし、“つながり”をキーワードとしてびわコミ会議を開催した。

会場アンケートでは、びわコミ会議に参加して、「新しいつながり（びわ湖とのつながり・仲間など）を見つけることができた」が約 40%と、個人や団体の“つながり”を意識して開催した今回のびわコミ会議の目的は一定達成されたと考える。また、他には「自分たちの活動の参考になる情報が得られた」約 40%や、「もっと議論したかった」約 20%といった結果となり、参加者の満足度は概ね高いと思料された。

第 3 回びわコミ会議（2013/8/31）

<主な感想>

- ・若い人、地域との連携を議論し、意見を得られたことがよかった。
- ・いろいろな方と話げできたことがよかった。明日への活動の参考になった。

<「私のコミットメント」の概要>

参加者は「私のコミットメント」を最後に記載し、それぞれが 1 年間の約束をした。

内容的には、個人として取り組むもの、他の人を巻き込んで広げていこうとするもの、所属団体を通じて具体的な事業を行おうとするものなど、それぞれ千差万別であった。

参加者はコミットメントを書くことで、これをきっかけとして、自分や団体の行動や考えを見つめなおし、1 年間という期限の中で、それぞれが自ら行った約束を果たすモチベーションを高められたのではないかと考える。

<他団体等との“つながり”>

マザーレイクフォーラム運営委員会を中心に、県内外の活動団体に声掛けを行い、「エントリーシート」の記入を依頼して回った結果を一覧にまとめ発表した。まだ活動を始めてから数か月しかたっていないため、びわコミ会議の当日現在では湖南エリアを中心とした 53 の個人・団体の登録であり、登録数や広がりはまだ少ないと感じているが、マザーレイクフォーラムの趣旨に賛同する個人や団体を今後も増やしていくことは、マザーレイク 21 計画の目標達成に貢献するものであるため、引き続き、他団体等とのつながりを深めていきたいと考えている。

第3回マザーレイクフォーラムびわこミ会議の結果概要(詳細)

◇開催概要

日 時： 平成 25 年 8 月 31 日 (土) <第 1 部>10:30~12:00 <第 2 部>13:15~16:30

場 所： コラボしが 21 (滋賀県大津市打出浜 2-1)

主 催： マザーレイクフォーラム運営委員会、滋賀県

参加者： 155名

参加団体：85団体

ブース出展団体数：25団体

テーマ：「水でつながる、人がつながる びわ湖の環^わ」

内 容：



【第一部】みんなつながる報告会 10:30~12:00

1 エントリーシートの取りまとめ状況の報告(県琵琶湖政策課 関慎介)

各団体間の情報交換を目的とするエントリーシートの取りまとめ状況について、県より報告を行った。配布資料およびパワーポイントにより取りまとめ状況を説明した。

2 活動団体5団体からの報告

次に、山・川・里・湖で活動する5団体からこの1年間の活動報告を行うとともに、県より関連するデータ等を提示し、県や学術フォーラム等の立場よりコメントを行った。

①山：「巨木と水源の郷を守る会」(小松明美)

“びわ湖源流の森をまもる”

DVDの動画を流しながら、安曇川流域におけるトチの木の保全活動、地域再生に向けた取り組みや、子ども達等との観察会などの活動を報告した。

②川：「白鳥川の景観を良くする会」(吉田栄治)

“まず源流のクリーン化への取組”

東近江市と近江八幡市にまたがる白鳥川において、過去7年間のごみ拾いの実績や、市民憩いの散策路づくり(桜並木)の活動内容を報告した。ポイ捨て、不法投棄が目立ち、大小様々なゴミが捨てられており、月2回のゴミ拾い活動を行っていること、琵琶湖へそれらゴミが流れて行く前に取り除くなどの清掃活動の報告や、市民が白鳥川に愛着を持つよう、桜並木にボンボリや鯉のぼりをあげたりの活動を報告した。

③里：「柵ラーゴ」(濱田知宏)

“湖東・湖南地域における企業による生物多様性保全の取り組み支援”

湖東・湖南地域を中心に各企業の取り組みが活発になっている現状と、活動する上での企業の抱える問題などを幅広く説明した。

④里：「びわ湖エコアイデア倶楽部」（中野隆弘）

“こどもエコクラブ「アイキッズ」の活動について”

こども達の活動を支援していく中で、様々な専門分野で活躍する大人やグループと「つながり」、そのつながりが広がってきたこと等を報告した。

⑤湖：「滋賀県漁連青年会」（中村清作）

“湖魚を「食べる」アクション”

ビワマスを食べることを広めることからつながっていった他分野の仲間達との活動や、食を通じた消費者とのつながり、様々なブラックバス料理を食べるイベントの開催などについて報告した。

次の3名のコメンテーターは、各団体からの発表の後、適宜関連するデータの紹介やコメントを寄せた。

○井手慎司（マザーレイク21計画 学術フォーラム）

○三和伸彦（滋賀県琵琶湖政策課）

○関慎介（ ” ）

3 「びわ湖なう」（三和伸彦）

「びわ湖なう」として、この1年間に琵琶湖に現れた症状等について、県より報告した。

- ①大型植物プランクトン（スクラストム）の増殖
- ②北湖の湖底で急激な溶存酸素の低下
- ③南湖でアオコの発生・CODの上昇
- ④謎の泡の発生（琵琶湖文化館周辺）
- ⑤水草の繁茂の状況（水草対策と底生生物の回復）
- ⑥アユの産卵が激減



会場からは、赤野井湾におけるオオバナミズキンバイの発生があり、駆除対策以上に繁殖力が強い点が報告された。

また、外来魚のアメリカナマズが増えてきており稚魚が見つまっているとの情報があり、問い合わせがあったが、会場内に詳細を知っている人はいなかった。

【昼休み】 12:00～13:15

25 団体からブース出展があり、参加者は各ブースを見て回り、出展者と個々に交流した。



【第二部】 びわ湖のこれから話さへん？ 13:15～16:30

10のテーマ別に小グループに分かれ、話し合いを行った。

前後半50分ずつ、2回話し合いを行い、参加者は同じグループに留まるか、違うグループに移るかの選択ができた。

まず、「話し合い」の進め方や留意点等について、村上悟運営委員より説明を行った。

続いて、各小グループの担当者が紹介され、担当者は簡潔に話し合いのテーマのポイント等を説明した。

A-1 「びわ湖ファンを増やすにはどうすればいいの？」 (小丸和恵)

A-2 「水と生き物を大切に暮らすを、守山の地域コミュニティでどう育んでいくか？」 (村上悟)

A-3 「琵琶湖が好き？暮らしに密着してる？」 (辻村琴美)

A-4 「こどもの目、おとなの目～環境学習を、どうすすめる？～」 (中野隆弘)

A-5 「びわ湖をきれいにするってどういうことだろう？」 (三和伸彦)

A-6 「企業はびわ湖のために何ができるか？」 (中村満)

B-1 「上流と下流のつながりって？」 (小松明美)

B-2 「ごみの多量沈殿でびわ湖の湖底は本当に大丈夫？」 (吉田栄治)

C-1 「琵琶湖のめぐみ、何を守り、後生(後世)に残したい？」 (奥田昇)

C-2 「人とびわ湖との関わりは今後どうあるべきか？」 (中村清作)



司会者より、各グループごとの人数を事前に把握するとともに、できるだけ均等化するため、旗挙げによるアンケートを実施し人数調整を行った。



その後、メイン会場6グループ、サブ1会場2グループ、サブ2会場2グループの合計10グループにより、話し合いを行った。(50分×2回)



(15:15頃嘉田知事会場到着→各グループの話し合いの様子を視察)

<第二部まとめ>

嘉田知事による挨拶に引き続き、司会者は第二部に参加しての感想を旗上げや挙手により参加者に聞いた。

◇旗挙げによるアンケートの結果

「第二部に参加されていかがでしたか？」

- ①新しいつながり（びわ湖とのつながり・仲間など）を見つけることができた（31人：39%）
- ②自分たちの活動の参考になる情報が得られた（31人：39%）
- ③もっと議論したかった（17人：21%）
- ④その他（1人：1%）

◇会場からは、第二部に参加して次のような感想があった。

○守山での活動について、若い人、地域との連携を議論し、意見を得られたことが良かった。

○いろいろな方と話ができたことが良かった。明日への活動の参考になった。

○普段は子どもを対象に活動しているが、今回は大人からの意見も聞けて良かった。

<私のコミットメント>

参加者全員にコミットメント（約束）を記載してもらい、一斉に掲揚。

96名がコミットメントを記載した。



その後、司会者は数名にコミットメントの内容を尋ねた。

会場からのコミットメントや意見等は次のようなものがあった。

○女性：滋賀県とか琵琶湖に関心をもってもらう機会づくりをする

大人になっていくにつれ、琵琶湖に接する機会がへってきたので、関われる機会づくりをしていきたい。

○男性：「二枚貝の視点で豊かな水域づくりを進める。」

愛知から本日参加した理由は、去年に滋賀県から愛知に来てもらったので、今回はその答礼である。

○女性：「1人の100歩より100人の1歩。より多くの方が環境問題に関心を持ち身近なことから行動を始めるためのお手伝い」

環境学習センターで働いている。センターに問い合わせる人は少なからず環境への問題意識のある人であり、逆にいえばそういう人しか来ない。興味や関心を向けてない人と一緒にしていかないと、ごみをすてる人はいなくならず綺麗にはならない。百人の一步をまず目指したい。

○男性：川ガキ文化を伝えていきたい。

○男性：地域ぐるみで若い人たちとともに琵琶湖を守る活動をしていきたい。

○愛知県から参加の子ども1：「琵琶湖を前よりもきれいにする。」

魚などの生き物がたくさんいればみんな興味を示してくれると思った。

○愛知県から参加の子ども2：「琵琶湖のことをもっと知る」

琵琶湖のことをもっと知っていれば、もっと意見が言えたと思うのでもっと琵琶湖を知りたいと思った。



最後に、嘉田知事から全体を通してのコメントがされた。

また、知事からは本日のびわコミ会議の運営に携わったマザーレイクフォーラム運営委員への謝辞が述べられ、自席での起立を求め、参加者全員に紹介した。

司会者より閉会が述べられ、第3回びわコミ会議は終了した。 (16:30)

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

	内 容	氏 名
1	①森林の現状を1人でも多くの人に伝える ②来年のびわコミ会議にも参加する	山田千尋
2	琵琶湖に行き、琵琶湖とふれあい、琵琶湖の魚を食べる 魅力を発見する。	森本正俊
3	びわ湖の今まで自分がしらなかった側面を知り、情報発信していく。	木村道徳(琵琶湖環境科学研究センター)
4	湖漁のセールスマンになる！！	中村清作(滋賀県漁連青年会)
5	孫たちを琵琶湖につれ出す(先送りテーマに再度挑戦) ①外的バリアー(休みなし) ②内的バリアー(ゲーム)	嘉田由紀子
6	鮒ずしをホントーに…好きになる！	歌代泰和、びわ湖エコアイデア倶楽部(アイキッズ)
7	県市行政との協働推進とコミュニケーションの向上。	湖南・甲賀環境協会、NPOびわ湖環境
8	毎日びわこに感謝しすごしたい。	村松光男
9	今年こそ小白鳥に会いにきたい。	仁枝 洋(琵琶湖淀川流域圏連携交流会)
10	・水を大切に使うこと ・年に数回、琵琶湖で遊ぶこと	村上浩継
11	・琵琶湖の現場に、少なくとも10回は足を運ぶ。 (現場主義に心がける)	小林 泉
12	Biwako Fanの仲間を増やすこと！	藤田アニコー(えこら)
13	琵琶湖の水を飲む事。 ブラックバスを食べる事	淡海地球環境研究会
14	大阪とびわ湖をつなぐプログラム(事業)を企画する	正阿彌 崇子(NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21)
15	買い物ゴミ(主としてレジ袋)削減を第一の目標に有料化店舗を主に野洲市内でふやす その為の啓発活動、キャンペーンを他団体とも協力しながら同志の力を借りてすみやかに実施	ごみを減らそうプロジェクト
16	家庭ごみの大半をしめるレジ袋の削減をはかり(マイバック持参推進活動)ごみを減らし 地域や川、湖をきれいにする。 地域との共働で川の清掃を続けていく(川の日)の制定	野洲生活学校
17	地域で、子供や若い人と共に環境を守る活動を続ける。 (美しいびわ湖を後世に)	北村孝(木浜の資源、環境を守る会)

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

	内 容	氏 名
18	びわ湖・滋賀・人と地域にかかわる多様な人がまざって、ちらばって、つながって新しいコミュニティーを創造できるように、様々な機会をとらえて、“インターローカル”に“居合わせ”から“仕合わせ”を育んでいく。	上田洋平(滋賀県立大学地域共生センター)
19	大川活用プロジェクトにかかわる生徒を増やして、水環境を軸にした地域連携のとりくみを前進させること。	八木良明(立命館守山中学校高等学校教諭)
20	既存の活動を軸にいろいろな世代、分野の人との関わりを増やしていく。	平山奈央子(碧いびわ湖・豊穰の郷)
21	・地域の環境活動に積極的に参加する。 ・琵琶湖の水に足をつける。	(アイチ)地域環境活性化協議会 児玉
22	地域の子供とコミュニケーションを取る。	地域環境活性化協議会
23	社会と科学をつなぐ第一歩を踏み出す。	奥田 昇(京都大学生態学研究センター)
24	環境学習の場をつくれるようがんばる!	里湖づくりの会
25	家棟川をみんなが楽しみいこえる場所にしたい。	政本幸三
26	・個人的には、 とちの木を含む森の実態、生態状況をもっと知ること 琵琶湖の現状をもっと知ること 森と湖とのつながりをもっと知ること いろいろな状況の原因・対策等を勉強したい (広く活動している団体と交流することによって……) ・まもる会の一員として 森の実態・感動を発信しつづけたい。	志連正和(巨木と水源の郷をまもる会)
27	シカとさるに、にらみをつける。 とちもち作りの上達をめざす。	巨木と水源の郷をまもる会、河村良子
28	トチのめぐみをもっとみんなに広める。 トチ染の腕をあげる。	巨木と水源の郷をまもる会、小松明美
29	今年も足元の川(地域の川)の保全にとり組み、赤野井湾の再生につなげます。	びわこ豊穰の郷 北田俊夫
30	びわこへの、赤野井湾への、ホテルへの熱い思いを繋ぐ	守山市 山岡
31	川ガキ文化伝えたい。	橋本夏次
32	琵琶湖とのかかわりを月に1回はもつ	井上孝夫(瀬田川リバプテ隊)
33	子供を川へ楽しさと伝え、次世代へ引継ぐ	美濃部進 NPO法人瀬田川リバプテ隊

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

	内 容	氏 名
34	1人の100歩より100人の1歩！ より多くの人が環境問題に関心をもち身近なことから行動を始めるためのお手伝い。	琵琶湖博物館環境 学習センター
35	子どもと一緒に琵琶湖か川に潜って、泳いでいる魚を見る！	中野良博(野洲市役 所)
36	毎日しつこくゴミ拾い(一日一善)	中野(景観隊)
37	◎当会の活動の前進・継続でびわ湖の環境良化に寄与していきたい。 ・子供達をまき込んだこみ対策の実践 ・川でのゴミストップ(回収)のモデル取組	吉田栄治(白鳥川の 景観を良くする会)
38	びわ湖を県民すべてが美しくするように！！ (県民すべてがゴミをびわ湖に捨てないようにすれば美しい湖になる)	NPO法人瀬田川リ パプレ隊 谷村
39	上流～中流～下流～湖、海へのつながり、行政、NGO/NPO、事業者、 市民、個人のつながり、いろんなつながりを一過性のイベントで意識するだ けでなく(イベントの継続は必要)、日常的に日常生活の中で、つながりが 意識できるような働きかけができるよう取り組みます。	NPO法人愛知環境 カウンセラー協会
40	これからの琵琶湖については、子どもへの教育が大切との意見が多い が、大人(30～40代)でも川やびわ湖の事を知らない人も多く、そうした 人々に自然の素晴らしさを伝える事も、子ども達と同様に進めていきたい。	佐瀬章男(滋賀大学 環境学習支援士会)
41	琵琶湖の魚貝類を増やすための一助となりたい。 そして、おいしく湖魚食をいただきたい。	吉川弘和
42	びわ湖のことを知る努力	林(おおつ環境フォー ラム)
43	引き続き環境活動に参加するきっかけ作り、場作りをすすめます！ + 一日一エコ	酒井久美子
44	トンボを通して、琵琶湖や滋賀県の現状を知り、生物の保全に努める。	牛島釈広 (株)ラー ゴ
45	針江大川左岸にクルマの森整備をしたい。	針江生水の郷委員 会石津文雄
46	滋賀県民にとっての琵琶湖を参考として、愛知県民にとっての三河湾につ いて深く考えたい。	愛知県 谷口 亮
47	琵琶湖を一周し、湖の自然、歴史・文化を深く知る。	橋本博巳(愛知県)
48	・びわ湖を遊ぶ、 ・びわ湖を食べる、 ・びわ湖を満喫する、	関 慎介
49	人と人、人と自然、自然と自然をつなげることの重要性を1,000人に伝える る！	濱田知宏
50	自然を感じに川へ釣りに行く	望月孝幸

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

	内 容	氏 名
51	滋賀県産の野菜や米を優先的に購入する。	無記名
52	残土、汚染土じょう、廃キ物の現状をPRしていく。	しが県環境カウンセラー協会
53	びわ湖の恵み`思い出`創りで総合的保全と次世代育成を目指す！	びわ湖エコアイデア倶楽部
54	琵琶湖の水源に留意し、自分にできることを可能なかぎり実行する。当面、比良・八雲ヶ原で。	金（比良・八雲ヶ原を守る会）
55	美しい川づくりのためゴミを拾います。	小出喜洋
56	びわ湖と森とのつながりを意識した活動を継続して展開していく。びわ湖での課題、状況を上流へ、森での課題・状況を下流へ、つなぎの動きに力を入れていく(課題解決に向けてつながる)	チーム一滴
57	(愛知でのエコクラブの取り組みを他県へも発信したい。)マザーレイク21計画(琵琶湖)の取り組みを愛知県でも広める。	半田こどもエコクラブ(山田)
58	環境活動に参加して預けるきっかけ作りに努めます♪	半田こどもエコクラブ 牧野
59	来年もできるだけエコクラブを続けて、自分の意見をもっとしっかり持つようにする ★びわ湖を応援する！	半田こどもエコクラブ 杉江萌
60	誰かとびわこであそぶ	野洲市 福山
61	つながりをもっと大切して、びわ湖、地域の自然・環境のいいところを発信できるよう、力をつけていきます。	ツダ クミコ
62	生産者と消費者をつなぎ、びわ湖をもっと好きになるような活動をします。 (1)1. M・O・H通信 2. よばれやんせ湖北 3. なでしこファーマーズ (2)食のマインドマップ、びわこにええことポイントについて、勉強します <div style="text-align: center;">(食)</div>	新江州(株)M・O・H通信
63	滋賀・琵琶湖を広める。関心を持ってもらう機会づくりをする。 (良い所も悪い所も伝える)	新江州(株)M・O・H通信 上岡 瞳
64	びわこの歌を作ります	北村いすず
65	びわ湖に一人でも多くの方に関心を持って頂けるよう、働きかけていきます！	駒井 千代
66	水都大阪で、琵琶湖・淀川の情報発信活動と友の会(ファン)づくり着手します。 (・大阪発・琵琶湖感謝祭企画準備活動として)	BYネット 岡村悦治
67	今年こそ、100人以上の子ども達を魚つかみに連れて行き、川遊びの楽しさを味わってほしい。	NPO法人 蒲生野考現倶楽部 野田

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

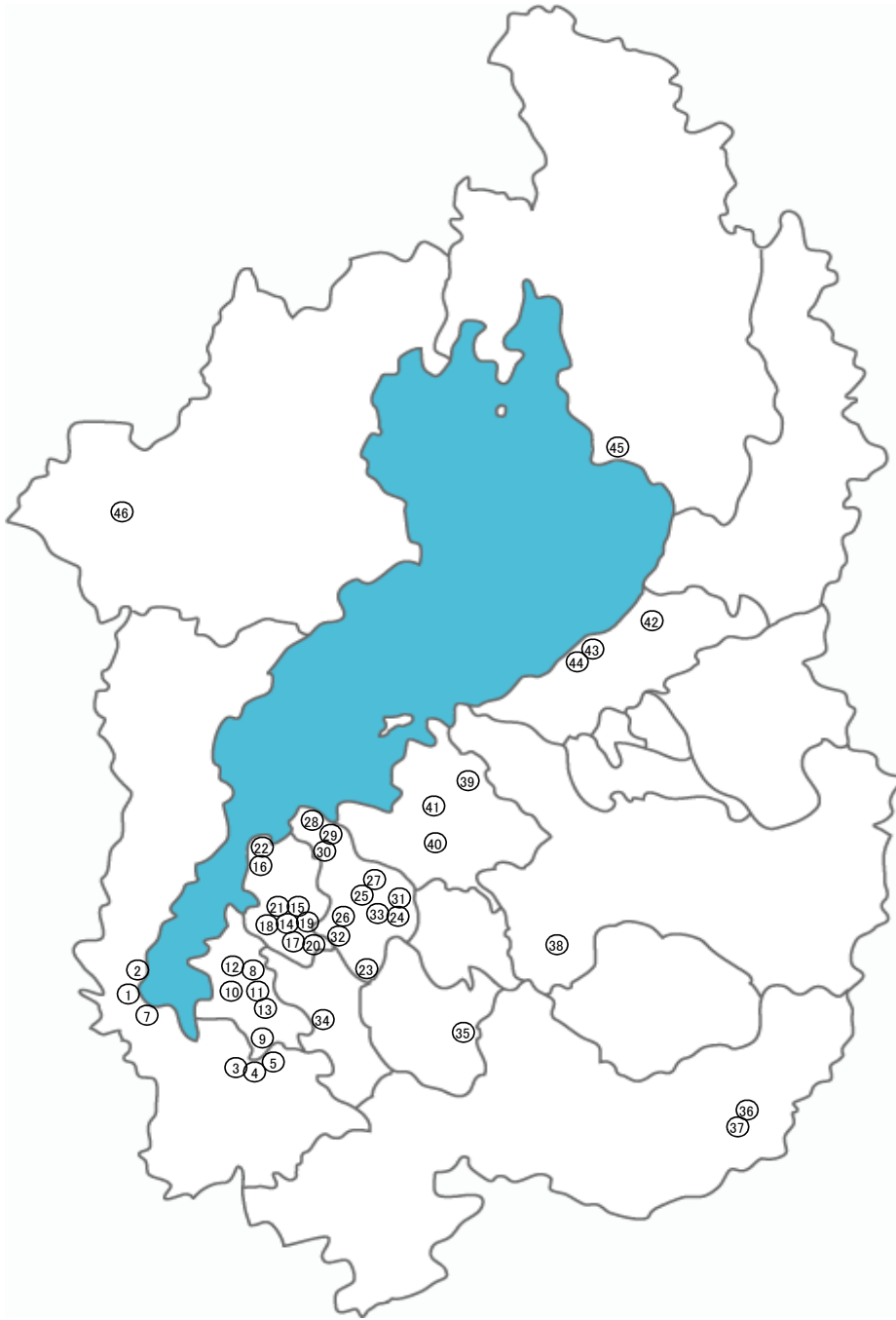
	内 容	氏 名
68	今年も、活動をつなぐアイデアでびわ湖と暮らしをもっとつなぎます。	びわ湖エコアイデア 倶楽部 中野
69	びわ湖の魅力を伝えびわ湖ファンを増やす	子どもと川とまちの フォーラム 小丸和 恵
70	1人でも多くの人に湖魚を食べていただく、イベント！！	松沢松治
71	森林に関わる活動の横のつながりを検討したい。	山口美知子(滋賀地 方自治研究センター)
72	『『きれいな琵琶湖』とは何か?』という問いへの答えを2つ以上見つける。	三和伸彦
73	子育てビジョンをつくる	佐藤祐一
74	より良いびわコミ会議に、マザーレイクフォーラムに	井手慎司
75	琵琶湖に関する出前講座の回数を増やす。	橋田卓也(滋賀大学 環境学習支援士会)
76	びわ湖にもっと遊びに行く。(もっとびわ湖知る)	金 再奎(琵琶湖環 境科学研究センター)
77	琵琶湖のことをもっと知る	半田こどもエコクラブ 喜多崎 基
78	琵琶湖を前よりもきれいにする	田中 瑛(半田こども エコクラブ)
79	草津市の環境学習の広まりに貢献する。	無記名
80	子供も大人も琵琶湖に関する活動、(湖岸のゴミ拾い、清掃活動、ボート遊び、水泳、キャンプなど)が全て 琵琶湖の環境を考えること、大切にすることにつながると思う。 琵琶湖に出かけて、いくことがまず第一歩	無記名
81	三河湾再生プロジェクト参加(2013びわコミ会議を参考)	地域環境活性化協 議会
82	環境が良い、とは何なのかなど根本的なところから考えてから、実行する。	無記名
83	川のゴミひろいガンバツテ実行していきます。	渡辺 地域環境活性化協 議会
84	清掃活動を行う時は 笑って楽しむ！	河合克彦
85	二枚貝の視点で、豊かな水域づくりを進める。 琵琶湖？宍道湖？大通湖(中国湖南省)？三河湾(愛知県)？	井上祥一郎(伊勢・ 三河湾流域ネット ワーク)

2013びわコミ会議 私のコミットメント(約束) 一覧

平成25年8月31日 第3回マザーレイクフォーラムびわコミ会議

	内 容	氏 名
86	(子供)孫達に水と人がつながるびわ湖とのかかわりを伝え勉強してほしいと思います	消費生活研究会
87	びわ湖に愛着をもって、小学生(子供達)達にもびわ湖に感心を持つ様に努力をして行きたい。(次世代に)	野洲市消費生活研究会(小島敏子)
88	この1年で何かひとつでもびわ湖のためになったと思える活動を実行します。	松宮秀典
89	目田川(守山市)で子どもたちと魚をとっておいしくいただく。	村上 悟(NPO碧いびわ湖)
90	活動を思いっきり楽しみ「考える」につなげていく	田中美穂 半田こどもエコクラブ
91	※一人でも多くのびわ湖ファンを増やす。 その為にもっともっと”びわ湖”を知り”びわ湖”に携わる人達と交流し、それらを元にアウトプットしていく。	無記名
92	野洲川流域で、地域とともに、新しい流域管理に関する研究・実践のプロジェクトに取り組む。	脇田健一(龍谷大学)
93	滋賀の食(さかな、野菜・米、お酒、菓子)を食べて、他府県の人にも勧めてまわる。	谷内茂雄
94	子どもを琵琶湖に連れていく。	化環会 南哲治
95	エコなものを選ぶ	化環会 赤崎
96	次の実践のために、滋賀の自然について、学ぶ。フィールドワーク(読書も含めて)を通して深めていく。	城木信浩

マザーレイクフォーラム エントリーシート 活動団体所在地マップ



番号	名称
1	特定非営利活動法人 おおつ環境フォーラム
2	滋賀県琵琶湖環境科学研究センター
3	谷内 茂雄(京都大学生態学研究センター)
4	奥田 昇(京都大学生態学研究センター)
5	中野 伸一(京都大学生態学研究センター)
6	滋賀大学「環境学習支援士」会
7	滋賀県化学・環境行政職員同友会(化環会)
8	草津でホテルを楽しむ会
9	びわ湖エコアイデア倶楽部
10	草津塾
11	NPOびわ湖環境
12	チーム一滴(Team Itteki)
13	湖南・甲賀環境協会
14	守山市ほたるの森資料館
15	レイ大目田川会(レイカディア大学)
16	木浜の資源環境を守る会
17	NPO法人 びわこ豊穡の郷
18	特定非営利活動法人 滋賀環境カウンセラー協会
19	守山湖岸振興会
20	勝部自治会
21	立命館守山高等学校 Sci-Tech部 生物化学班
22	大川活用プロジェクト
23	野洲市消費生活研究会
24	環境基本計画推進会議 自然・山部会
25	環境基本計画推進会議 エコ資源部会
26	エコロジーマーケット やすの会
27	野洲生活学校
28	びわ湖の水と地域の環境を守る会
29	須原魚のゆりかご水田協議会(せせらぎの郷)
30	NPO法人 家棟川流域観光船
31	NPO法人 環境を考える会
32	オムロン株式会社 野洲事業所
33	株式会社村田製作所 野洲事業所
34	もんべおばさん田舎工房
35	TOTO(株) 滋賀・滋賀第二工場
36	いきものみつけファーム滋賀推進協議会
37	山内エコクラブ
38	NPO法人 蒲生野考現倶楽部
39	NPO法人 碧いびわ湖
40	白鳥川の景観を良くする会(略称:景観隊)
41	株式会社 ラーゴ
42	環境フォーラム湖東
43	井手 慎司(滋賀県立大学環境科学部)
44	伴 修平(滋賀県立大学)
45	新江州株式会社循環型社会システム研究所MOH通信編集局
46	巨木と水源の郷をまもる会
47	おうみのふるさと物語プロジェクト
48	NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム
49	カップ研究会
50	橋本 夏次(愛知産業大学大学院造形学研究所建築学専攻)
51	琵琶湖・淀川流域圏連携交流会
52	岩田 智也(山梨大学生命環境学部)
53	川端 善一郎(総合地球環境学研究所)

- 京都市
48
- 亀岡市
49
- 貝塚市
50
- 枚方市
51
- 甲府市
52
- 松山市
53

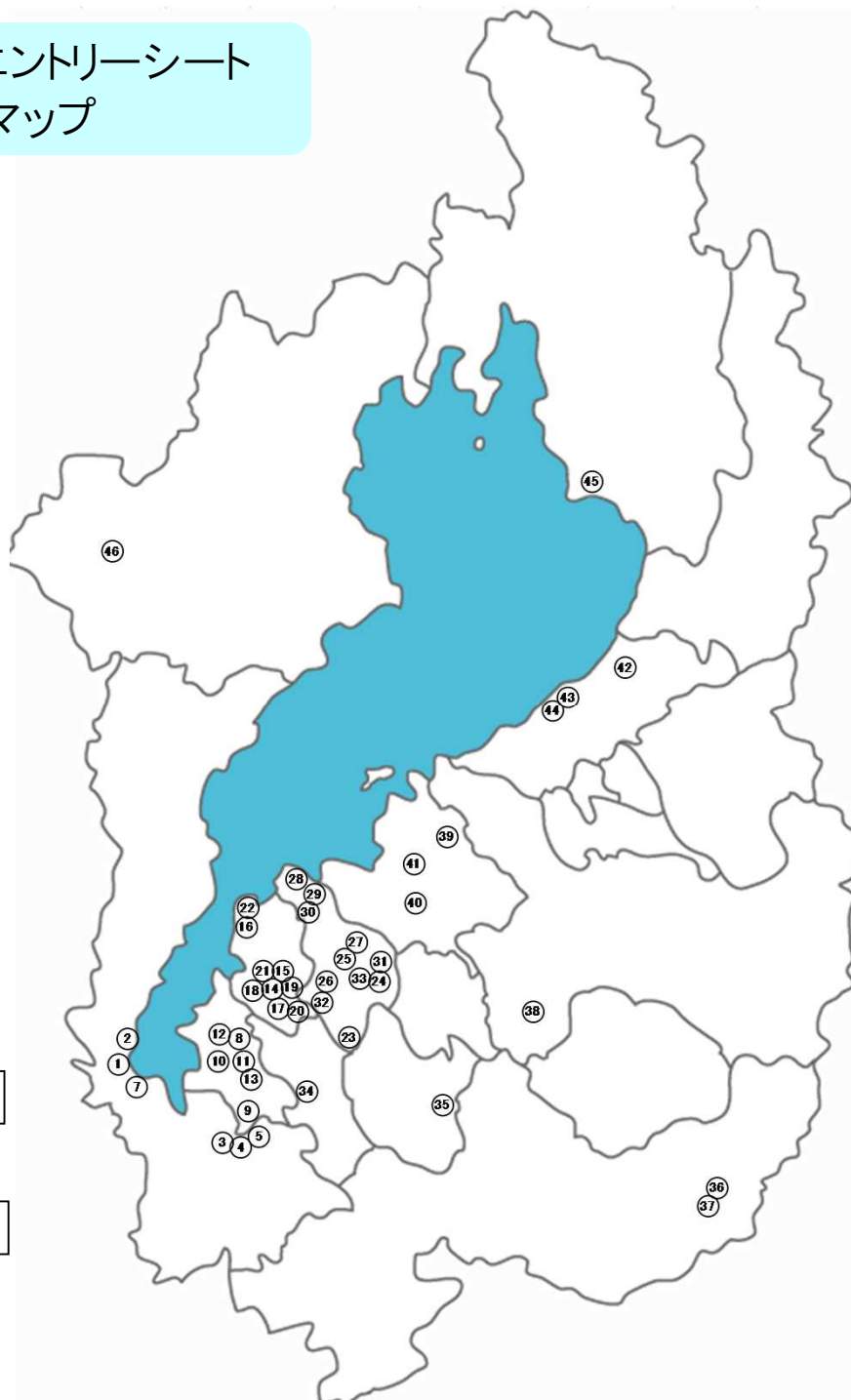
	活動団体名	所在地	活動概要	主な活動地域	種別	主な活動分野								
						琵琶湖流域生態系の保全・再生				暮らしと湖の関わりでの再生		その他		
						湖内	湖辺域	集水域	つながり	地域 (なりわい)	個人・家庭		つながり	
12	チーム一滴(Team Itteki)	草津市	・びわ湖森づくり活動(手入れを必要としている森林の整備) *淡海森林クラブ湖北地区代表 ・外来水生植物対応(生息調査・除去活動) ・びわ湖周辺の生きもの観察	大津・志賀、湖南、東近江、湖東、湖北、湖西	個人、その他		○	○	○	○	○	○		
13	湖南・甲賀環境協会	草津市	・地域企業の緊密な連携を活かし、地域に合致した環境保全活動の啓発。 (水質事故被害拡大防止訓練、環境担当者研修会、地区別環境情報交換会)	湖南・甲賀	その他(企業・個人会員による非営利団体)			○		○			○	
14	守山市ほたるの森資料館	守山市	・ゲンジボタルの復活に向けた取り組み。	湖南	市民団体、NPO、研究者		○	○		○		○		
15	レイ大目田川会 (レイカディア大学)	守山市	・毎月1回の河川美化活動と、目田川河川でのホタル生息補助作業の実施。 ・守山ほたるパーク&ウオークへの期間内ボランティア協力。	その他(守山市)	市民団体				○				○	
16	木浜の資源環境を守る会	守山市	・地域に存する農地、農業用水などの資源の保管理や農村環境の保全を図る。	湖南	市民団体、自治会、その他(農業者)		○	○		○	○		○	地元：地域環境保全、農業者
17	NPO法人 びわこ豊穰の郷	守山市	・琵琶湖、赤野井湾およびその流域の水質改善を図るとともに、豊かな生態系をとり戻す活動をすすめる。	湖南	NPO		○	○						
18	特定非営利活動法人 滋賀環境カウンセラー協会	守山市	・企業、市民、子供を対象とした環境保全に関する啓発活動。	滋賀県全域	NPO									温暖化防止
19	守山湖岸振興会	守山市	○守山湖岸振興会主催で、外来魚駆除推進のために「もりやま・びわ湖・ブルーギル撲滅釣り大会」を毎年実施。 ○守山市ごみ・水環境問題市民会議、守山市水産振興会、守山市と共催で、「守山市湖岸清掃運動」を毎年実施。 ○県漁業協同組合主催の「びわ湖(漁場)をきれいにする運動」へ協力団体として毎年参加。	その他(守山市の湖岸地域)	企業、行政	○	○						○	
20	勝部自治会	守山市	・河川清掃、河川に沿う歩道の清掃活動。	湖南	自治会			○		○				
21	立命館守山高等学校 Sci-Tech部 生物化学班	守山市	・守山市大川における「大川活用プロジェクト」で、大川の水質調査や水質改善のモデル実験等を行い、「大川フォーラム」等で発表しています。	湖南(守山市北部 大川流域)	その他(学校)			○		○				
22	大川活用プロジェクト	守山市	・大川(旧野洲川南流の準用河川)の水環境の改善。 (水草の除去、河川敷の清掃・整地、水質調査・自然観察会の開催、フォーラムの開催)	湖南				○		○				
23	野洲市消費生活研究会	野洲市	・環境、食の安全安心、悪徳商法の撲滅啓発活動に連携で取り組む (リサイクルバザー、環境学習、健康管理、ホウ酸団子作り、食の安全安心)		市民団体									
24	環境基本計画推進会議 自然・山部会	野洲市	・里山保全を森林組合と共に手伝いをする ・里山の歴史と自然の語り部となる(案内人)	その他(野洲市)	市民団体				○				○	

	活動団体名	所在地	活動概要	主な活動地域	種別	主な活動分野								
						琵琶湖流域生態系の保全・再生				暮らしと湖の関わりの再生		その他		
						湖内	湖辺域	集水域	つながり	地域	(なりわい) 生業 個人・家庭		つながり	
25	環境基本計画推進会議 エコ資源部会	野洲市	・環境学習及びエコ資源分野	その他(野洲市)	市民団体									地球温暖化防止とエコ資源活動
26	エコロジーマーケットやすの会	野洲市	・廃食用油回収 ・食用油でのキャンドル作り ・出前講座	その他(野洲市)	市民団体					○				
27	野洲生活学校	野洲市	・もったいないの心を大切に地域のごみ削減運動、マイバッグ持参啓発推進活動 ・地産地消、グリーン購入(グリーンコンシューマーの買い物の指導)	滋賀県全域	市民団体					○	○			
28	びわ湖の水と地域の環境を守る会	野洲市	・山から湖まで各地域でびわ湖を見据えた環境活動(環境学習、ヨシ帯の復活など)	湖南	市民団体	○	○	○	○	○	○		○	
29	須原魚のゆりかご水田協議会(せせらぎの郷)	野洲市	・われわれのプロジェクトでは、琵琶湖に近接する立地条件に恵まれた、堤、安治、菖蒲、吉川、須原の水田と湖をつなぐ魚道を整備し、琵琶湖～幹線排水路～支線排水路を通してコイ、フナなどの魚が産卵、繁殖できる環境を再生させる活動をしておりま	湖南	市民団体		○							
30	NPO法人 家棟川流域観光船	野洲市	・家棟川で屋形舟を運行し、地域のお年寄りに櫓をこぎ、語りをしてもらう、漁師料理を食べることで、地産地消を促進する。 ・生態回廊の再生を目指し、山、川、里、琵琶湖で活動する。	湖南	NPO			○					○	
31	NPO法人 環境を考える会	野洲市	・春の七草の採集や年数回の自然観察で環境の変化をよみとり、活動につなげる。また、多くの人に知ってもらうよう参加を呼びかける。	湖南	NPO				○	○			○	
32	オムロン株式会社 野洲事業所	野洲市	・事業所敷地内に、生産現場から排出された廃水を浄化した水を利用したピオトープを造営。そのピオトープで、絶滅危惧(A類(環境省)・絶滅危惧種(滋賀県)に指定されている「イチモンジタナゴ」の保護増殖を目指すとともに、植栽種や導入種は郷土のものを利用し郷土の自然環境の再現も図る。	その他(野洲事業所敷地内)	企業									
33	株式会社村田製作所 野洲事業所	野洲市	・村田製作所野洲事業所では、そこにムラタがあることが地域の喜びであり誇りでありたいと願い、地域貢献、環境保護、モノづくりの継承という3つの重点分野を設け、活動しています。	その他(野洲市)	企業		○			○				
34	もんべおばさん田舎工房	栗東市		湖南	個人				○				○	
35	TOTO(株) 滋賀・滋賀第二工場	湖南市	・NPO法人 家棟川流域観光船とTOTO(株)が協働して、マザーレイク21第2期計画の重点プロジェクト『山・川・里・湖のつながり再生』を实践	湖南	企業		○			○				
36	いきものみつけファーム滋賀推進協議会	甲賀市	・有機肥料による農作物の栽培、農作物の安全認証、六次産業化、環境教育の实践によって、生き物がにぎわう土作り、川作り、農作物づくりを行っています。また、事業を通じて、農家の自信作り、価値付け、地域の振興を目指しています。	滋賀県全域	市民団体			○	○	○				

活動団体名	所在地	活動概要	主な活動地域	種別	主な活動分野							
					琵琶湖流域生態系の保全・再生				暮らしと湖の関わり再生		その他	
					湖内	湖辺域	集水域	つながり	地域 (なりわい)	個人・家庭		つながり
37 山内エコクラブ	甲賀市	・私たちは、地域資源(人・自然・文化)の良いところ探しをしています。身近なところにあるが気がついていない資源を調査やフィールドワークによって見える化サイクルを循環させます。 エコを自然環境に特化せず、社会環境や精神的な環境も良くしたい。地域に住む一人ひとりが、大切な構成員として認められ助け合っていること、役割と生きがいを持ち、元気に暮らすことができる環境づくり(地域づくり)を目指して活動しています。	甲賀	市民団体					○			○
38 NPO法人 蒲生野考現倶楽部	東近江市	・水路やため池、川、琵琶湖など、水と人との関わり方について、過去・現在・未来の時間軸と場所の空間軸から明らかにしようと、1990年4月に設立。調査研究、環境保全活動、三世交代による体験活動および環境啓発事業、青少年育成事業を行ってきた。スローガンは「たんけん、はっけん、ほっとけん」。	東近江	NPO			○		○		○	○
39 NPO法人 碧いびわ湖	近江八幡市	・「子どもと湖が笑っている未来へ」を合言葉に、身近な自然と身近な人との、豊かなつながりを育む暮らしの普及に取り組んでいます。具体的には、せつけんや県産食材の共同購入、廃食油や牛乳パックの地域回収、雨水や太陽熱を活かす住まいづくりやまちづくり、森や水辺での子育ての場づくりなどの事業をおこなっています。	滋賀県全域	NPO					○	○	○	○
40 白鳥川の景観を良くする会(略称:景観隊)	近江八幡市	◆活動日 月2回(第1と第3水曜日、9:00~12:00)の活動 ◆活動内容 ①白鳥川のJR線〜びわ湖間、ごみ拾い除草等の環境整備活動。 ②5kmの名勝「桜並木づくり」の自然再生活動(害虫・天狗巣病の駆除、補植の取組)。 ③市民憩いの場づくり(小学生の体験学習支援、桜ぼんぼり、鯉のぼり川渡し、他) ④メンバーの3づくり(健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり)	東近江	市民団体			○					○
41 株式会社 ラーゴ	近江八幡市	自然に生かされる環境技術で、人と自然に心地よい環境づくりを提案します。 ●生物多様性保全 ●ビオトープ創出・改修 ●企業のCSR活動支援 ●環境教育の実践 ●生物多様性コンサルティング	滋賀県全域	企業	○	○	○	○	○			○
42 環境フォーラム湖東	彦根市	・環境フォーラム湖東は、マザーレイク21計画に基づき、湖東地域からより良い環境を創り出していこうと地域の環境NPO団体や企業、行政等が会員となり設立されたネットワーク団体です。 主な活動内容は、シンポジムの開催、水環境調査の実施、湖東の生き物調査の実施、交流会の開催、情報誌の発行などです。	湖東	市民団体			○	○				○
43 井手 慎司 (滋賀県立大学環境科学部)	彦根市	・水環境を守っていくための住民運動のあり方や住民参加型環境計画の策定や実施手法について研究しています。 また、かつての内湖について、その様子や人々の暮らしとの関わりについて聴き取り調査を続けています。	滋賀県全域	研究者		○			○			○
44 伴 修平 (滋賀県立大学)	彦根市	・琵琶湖北湖の低次生産に関する研究を主に行っている。	湖北	個人	○							

	活動団体名	所在地	活動概要	主な活動地域	種別	主な活動分野								
						琵琶湖流域生態系の保全・再生				暮らしと湖の関わりの再生		その他		
						湖内	湖辺域	集水域	つながり	地域 (なりわい)	個人・家庭		つながり	
45	新江州株式会社循環型社会システム研究所MOH通信編集局	長浜市	・もったいない・おかげさま・ほどほどにが環境と人間を育てる環境啓発・交流誌「M・O・Hもう通信」を季刊発行。生産者と消費者をつなぐ「よばれやんせ湖北」「なでこファーマーズの食hana咲かそう」開催。人財育成活動「環人ネット」協力。	滋賀県全域	企業					○			○	
46	巨木と水源の郷をまもる会	高島市	・びわ湖湖西の北に位置する高島市朽木でトチの巨木が伐採されたことをきっかけに地域の自然や生活を守るためびわ湖源流の森を地域の宝物として保全し、生かす活動。そのためトチ巨木の調査や、苗木の育苗、広報活動を行っている。	湖西	市民団体					○				
47	おうみのふるさと物語プロジェクト		・子どもを中心に多世代の人々が、地域に対する共通のおもいを深める活動「ふるさと物語」を通して、地域を愛する心を育み、より明るく元気な地域をめざす。	滋賀県全域、 湖南	市民団体				○	○				
48	NPO法人 子どもと川とまちのフォーラム	京都府 京都市	・本フォーラムでは、水辺で遊ぶ子ども達を復活させることにこそ、子ども達の豊かな心の成長とともに地域の活性化や豊かな水文化の継承に繋がると考え、子どもと大人が一緒になって川で遊び、川(自然)を体験し、自然に学ぶ活動を続けています。	その他(京都 市内中心)	NPO					○			○	
49	カッパ研究会	京都府 亀岡市	・千年の都・京都で育まれた水にかかわる文化について調査・研究し、その成果を発信・紹介する場を作ることを目的に発足し活動を行っている。	その他(京都)	市民団体									水文化
50	橋本 夏次 (愛知産業大学大学院造形学研究所 建築学専攻)	大阪府 貝塚市	・平成元年から、貝塚市内を縦断する近木川(大阪府貝塚市)の水質全国ワーストワン脱却のための活動を行政マン(貝塚市職員)とボランティアで取り組んできた。それを昨年終了した修士の論文でコミュニティ・コーディネーターの役割として、地方、全国の視点でまとめた。	その他(大阪、 京都、滋賀など)	研究者、個人				○	○			○	
51	琵琶湖・淀川流域圏連携交流会	大阪府 枚方市	・琵琶湖・淀川流域圏でなされているさまざまな活動を、「楽しく、美しく、みずから、気軽に」をキーワードに、住民独自はいは、行政を始めとした様々なところと協働で課題の解決に取り組めるような活動、個々の活動を緩くつなぐネットワーク活動。	その他(琵琶 湖・淀川流域 圏全体)	その他(NP O、市民団 体、個人等 の集合体)									
52	岩田 智也 (山梨大学生命環境学部)	山梨県 甲府市	・琵琶湖集水域の複数河川を対象に、河川を流下する栄養塩類(リンや窒素など)の輸送動態と河川内における代謝プロセスおよび湖への波及効果について研究を行っている。	滋賀県全域	研究者			○	○					
53	川端 善一郎 (総合地球環境学研究所)	愛媛県 松山市	・コイヘルペス感染症を中心とした、水辺環境と病原生物と宿主と感染症の相互作用環	湖南、湖東、 湖北、湖西	研究者	○	○	○	○					

マザーレイクフォーラム エントリーシート
活動団体所在地マップ

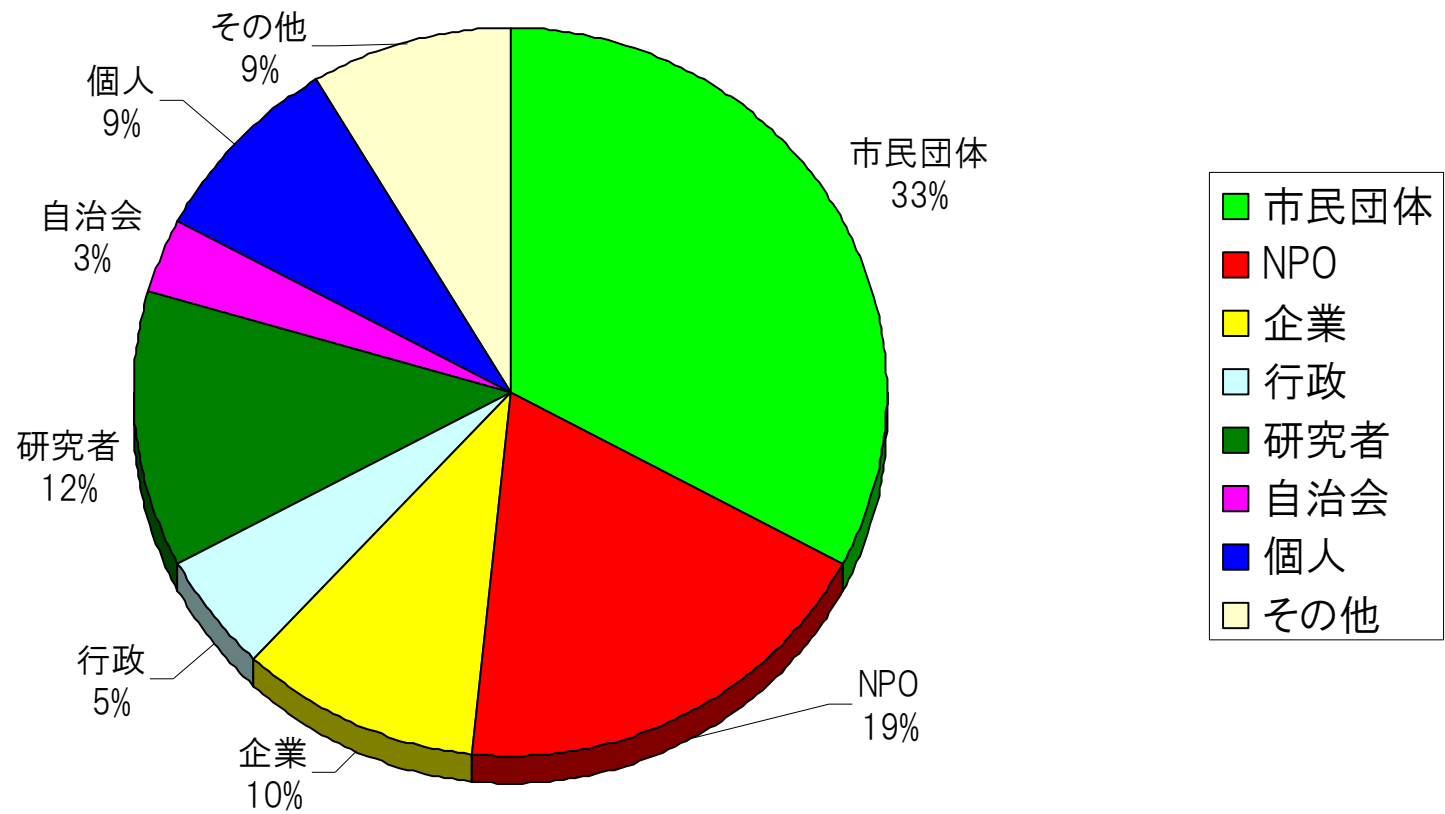


亀岡市 49
京都市 48

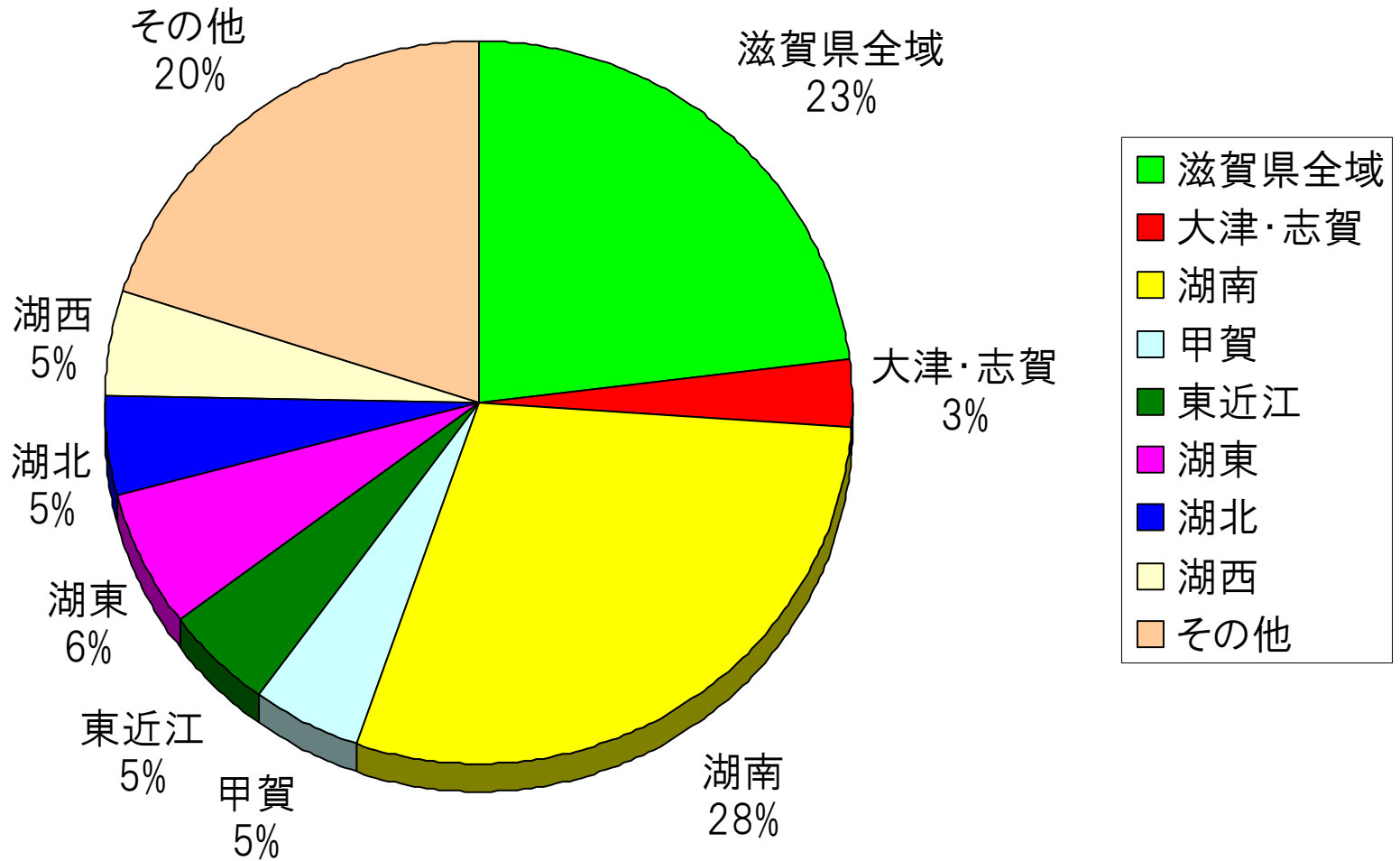
松山市 53
貝塚市 50
枚方市 51

甲府市 52

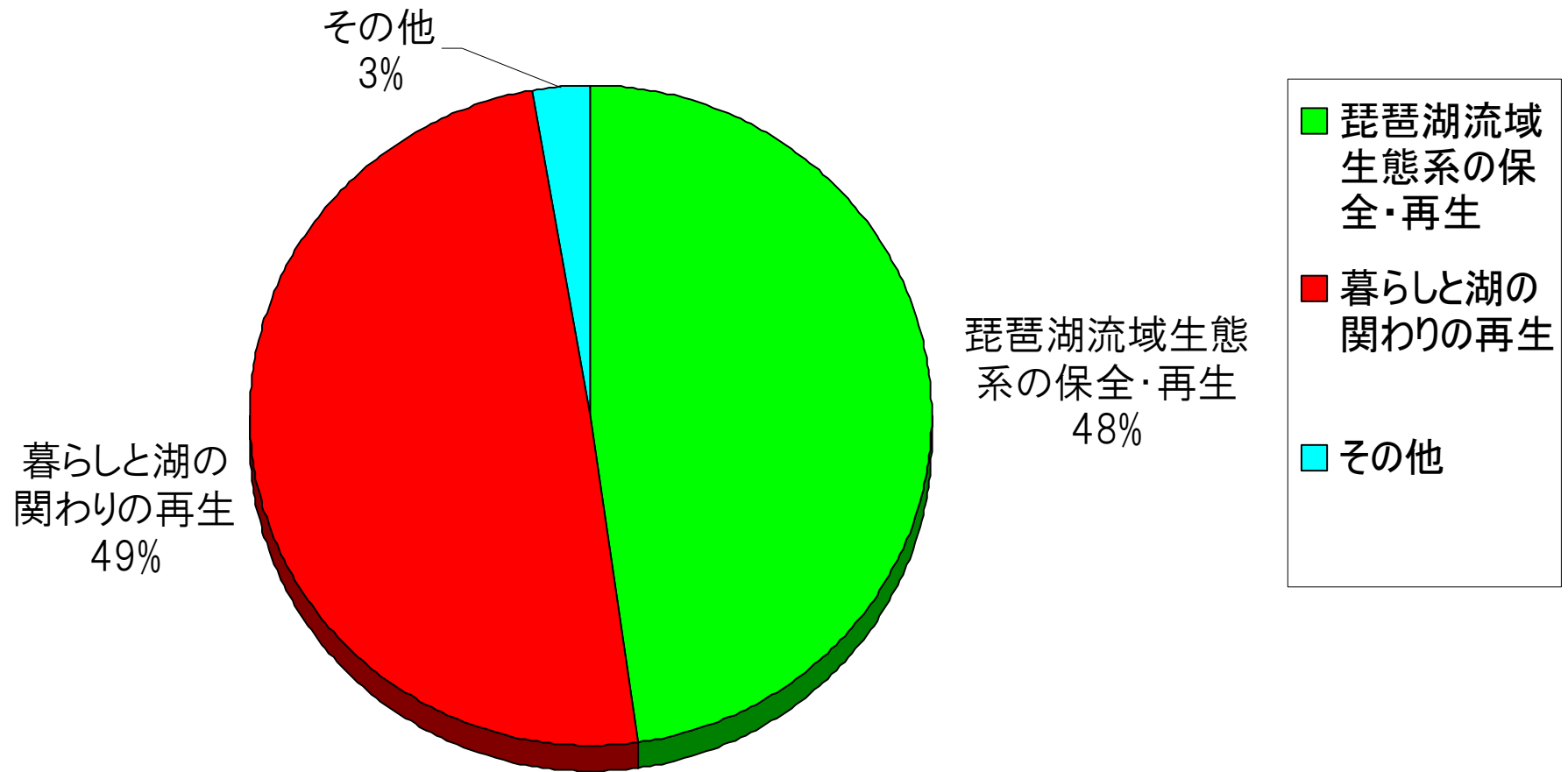
◎種別



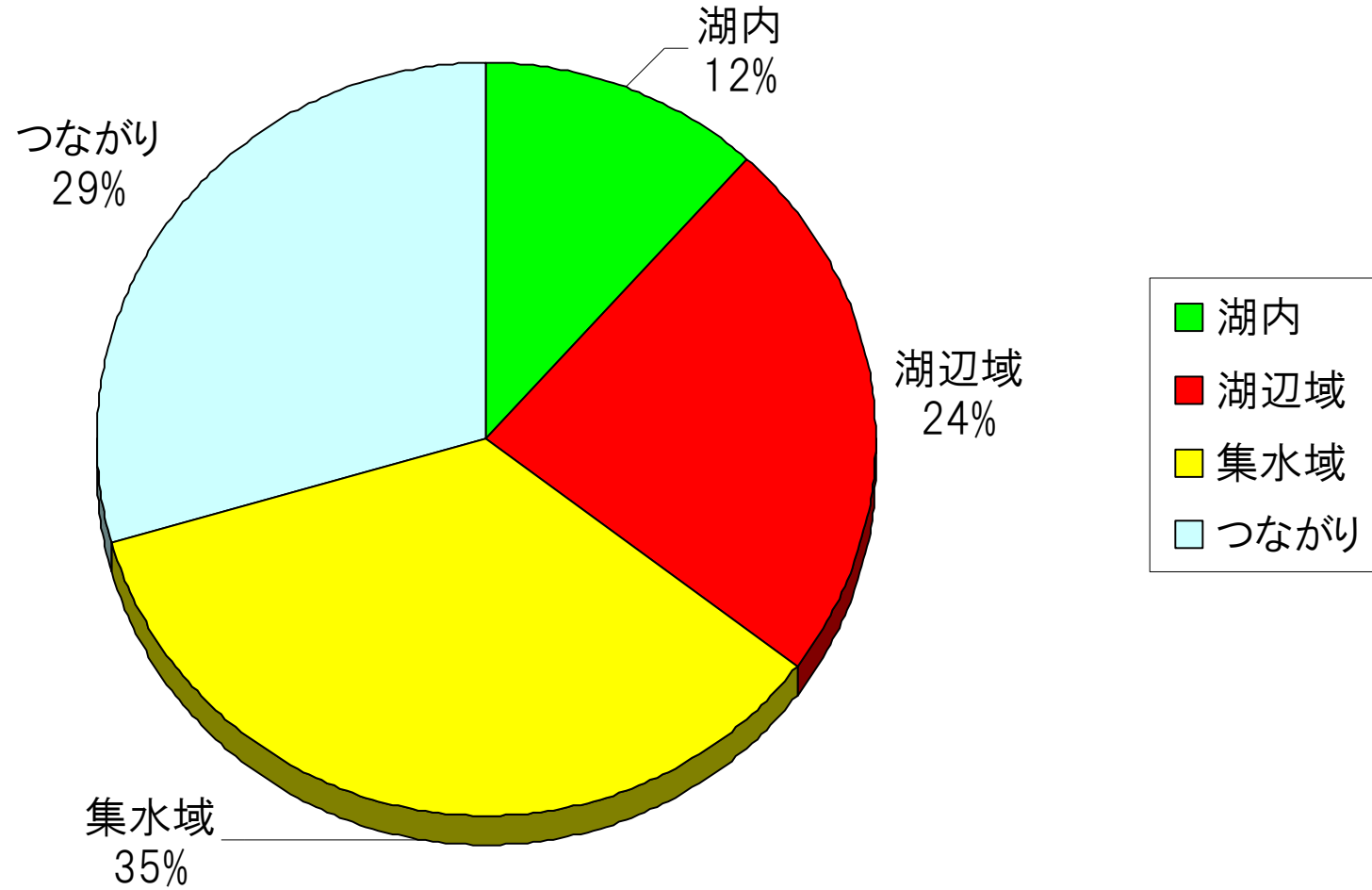
◎主な活動地域



◎主な活動分野



◎主な活動分野(琵琶湖流域生態系の保全・再生)



◎主な活動分野（暮らしと湖の関わりの再生）

